

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌

三宅小学校全校児童数 119名（男57名 女62名）平成22年3月1日現在

平成22年3月1日発行

第5号

ご挨拶

三宅小学校同窓会長 小林和弘（第46回 昭和30年卒 日笠区）



同窓生の皆様、こんにちは、ご健勝でご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。日頃は何かと母校のためにご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

既に皆様には趣意書にてご無理をお願いし、その趣意に賛同頂き、多くのご寄付をお寄せ頂きましたこと、誌上ではありますが心よりお礼申し上げます。

ここで母校の100周年の経緯を説明しますと、明治6年に「仮屋・三宅」「市場・井ノ口・天徳寺」「神谷・日笠」の3ヶ所に小学校が設立されました。その後、さまざまな名称変更や地区割を重ね、明治44年3月（1911年）三宅尋常高等小学校として統一され、誕生いたしました。

100周年として心に残る事業を考えておりますが、その一つとして記念誌の発行に着手しますので、記念に残る写真や投稿したい原稿等ございましたら、小学校又は公民館までお送り頂けると幸甚です。

今後共、皆様方が益々ご健勝にてご活躍されることをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

大きな節目

三宅小学校長 島津静夫



同窓生の皆様、お元気でご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。また、皆様方には日頃から学校教育等につきまして格別の御支援御協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、今年三宅小学校にとりまして大きな節目になります。一つは三宅小学校創立百周年記念事業の実施です。すでに昨年から同窓生や地域の皆様にはその趣旨を御説明申し上げ篤志を頂戴しております。厳しい社会情勢の中、誠にありがとうございます。

二つは念願の学校駐車場建設です。地権者の皆様の御理解を得て駐車場建設工事が着々と進んでいます。今校庭の周りには「すぎなさん」や桜の木々、そして緑の絨毯を敷いたようなスキー場などすばらしい自然があります。それに加え広々とした駐車場が建設整備されるのです。自然は手を加え守っていくことでよりすばらしい自然となります。今後、駐車場としても地域の憩いの場としても活用できるように工夫できたらと思います。

三つは学校耐震補強及びリフレッシュ改修です。本校は昭和43年に本館、昭和54年に児童玄関棟が落成し、さらに平成5年には本館やランチルームの増改築をしています。その後多くの地震を経て建物の耐震基準が見直され、本校も児童玄関棟と本館の耐震補強が必要となりました。児童玄関棟は1階が玄関、2階が図書室とパソコン室で、3月中旬完成予定です。本館は4月から8月を目途に完成予定です。ここ半年は児童にも地域の皆様にも大変不自由な状態になりますが、安全安心な校舎の改修のため、御理解と御協力をお願いします。

終わりになりますが、学校環境がきれいに整備され、百年の歴史を振り返るとともに、今後の学校と地域の発展を願いながら記念事業が開催できますことを祈念して挨拶とします。

同窓会便り

思い出の一コマ

五十二回卒「桜組」と、五十四回卒の二クラスを担当しました。が、「梅」組も合同授業などを行い元気溼刺でした。どの組も運動や勉強も常に力を発揮して頑張っていました。

特に武倉先生伴奏、私が指揮でNHKラジオ唱歌コンクール若狭大会に出場。朝・昼・放課後の猛練習。少年野球・少女ソフトボール両大会。学年男女別の陸上競技大会。家庭科の研究授業でミシンとブロードでの花瓶敷の制作。道德教育のはじまりの時、若狭地区研究大会で「スポーツ精神」（54回卒）の授業等々の思い出。

「梅桜会」の還暦お伊勢詣りに参加させてもらった感激、楽しい二日間で当時にかえりました。

『 五十鈴川 芭蕉の立ちし 石の上
清流眺め 子等と並びて 』



昭和36年3月 梅組・桜組合同謝恩会

旧教職員（昭和35年～） 鹿野公夫（仮屋区）

五十四回卒も本年は還暦を迎えられました。私も喜寿を迎えました。みんな健康で「永寿」でありますよう祈っています。



昭和36年3月 卒業生（女子）



昭和36年3月 梅組・桜組合同謝恩会

教員住宅での思い出

旧校舎の東側に隣接して教員住宅があった。校舎との行き来は、板子二枚併せての通路で行われていたと思う。

この建物は、名のとおり、遠来から赴任された先生方の宿泊施設なのである。よって、児童生徒には縁遠く近寄り難い建物であったと共に、よくよくの事由のない限りその出入りは禁じられていた。

ところが、確か私達が四年生の頃かと思うが、鯖江から岡田先生がお見えになられて住んで居られた。この岡田先生、当時の社会情勢からみて、考えられない程のリベラルな先生であった。授業時間中は、他の先生同様に、威厳と体面を保たれておられるが、放課後となれば、即座に変心の変身で私達児童と球技や模型飛行機造りに夕方遅く迄付き合ってた下さっていた。何かにつけて、慈しみのある言動が童心を引き付けてか大人気の先生であった。

その頃、私達は、下級生・上級生を含めて、「のらくろ隊」なるものを結成していた。余り良質なものはなかったと回顧している。岡田先生、この「のらくろ隊」に殊の外、気配りをされていて下さったやに思

う。

或日のこと、リーダー格の上級生から伝言があり、今日の日曜日に教員住宅へ集まるようにとのことであつた。私達は、疑心暗鬼恐る恐る訪れてみたところ、何計らんや満面笑顔の先生の出迎えに全く調子外れだった。先生の「よう来たなあ、さあ上がれ上がれ」の言葉には、今迄にない親しみを強く感じた。部屋の掃除を手伝い終わり、車座になって待つこと数分、先生が入って来られた途端、皆んな吃驚した。小脇に抱えられている数冊の教科書である。開口一番「先生はなあ、何故か君達ののらくろ隊が気になってなあ」と言われた。「実は、皆んなの勉強振りを調べたら。〇〇君おまえさんは算数が弱いなあ、〇〇君は読本かな。」等々、個々に底上げが必要な科目を指摘されたので、驚くと共に赤面の至りでもあつた。即懇切丁寧な勉強が始まって、皆んな一生懸命になってその善意に応えた。

昼どきになり、皆んな、昼飯に帰ってくると告げたところ、「帰ったらあかん。先生が昼飯くらい作って

(3 ページに続く)

(2 ページから続く)

やるから待っている。」と言われたので、待つことにした。出来上がり、昼食は今思い出すと、現代の焼き飯である。当時の田舎では、見たことも、味わったこともない珍しい食物であった。あまりの美味しさに、お代わりの連発で遂に先生の分迄食いつくしてしまった。そこで学校に一番近い某君の家よりお櫃を取り寄せて、その償いをしたと思う。毎週の昼食は、すべて先生力作の焼き飯であった。

或る日、総括の意味で、各人持ち寄り食材で作った五目飯を口にしたら、他愛なき話をしていた処、先生曰く「お前達、本当によく集まり勉強したなあ。意欲十分なり。」と言われたが、隊員の中の一部に焼き飯目当ての者も居て、それこそ一同大笑いをした。先生も、うすうす感じて居られたらしい。

戦雲芳しくなく、とうとう先生にも応召の時がきて離任されることになった。肉親以上の親しみと人情に触れることが出来得た、吾輩「のらくろ隊員」は実に幸せであったと思う。

帰られる前夜には、秘かに住宅へ伺い夜を徹して回顧談に耽った。帰られる当日は、皆んな住宅へ集い部屋の掃除や荷物の整理をし、駅迄見送りに行った。駅長さんの特別のお計らいで皆んな入場券なしでホーム迄出られて大喜びをした。淋しさと悲しさを紛らわすために、他愛なき話を誰となく進んでして

いたが、無情の列車の響きが近づくにつれ追々無言になり、とうとう泣き出す者がでてきた。車窓の先生も、堪え切れずに泣いて居られた面影は、私達共通の宝物として今だ深く胸に刻まれている。

ただ、後日他の先生から聞かされたことは、私達の教員住宅への出入りが、校長先生に知れ渡り、ひどく叱責されていたとのことであった。そのことは、先生一言も話されずに去って行かれたので、本当に気の毒で満感胸打つ思いであった。

戦後、消息をお尋ねしたが、病死されたとのことであった。「又、三宅へ来るぞ。」と言って去られた、先生の涙声が、空しく今だに耳に残り続けている。



懐かしい校舎

第67回（昭和51年）卒業生 塚本嘉夫（仮屋区）

三宅小学校は今耐震工事中です。工事の始まる前の昨年9月、昔の面影が残っているうちに、学校見学を兼ねて同窓会をしようという話が持ち上がり、急ではありましたが同窓会を開きました。集まったのは約半数の12人程でしたが、恩師の松岡先生もお招きし、校舎を見学させてもらいました。配置は若干変わっているものの、懐かしい教室の様子は昔のままです。当時を思い出しながらわいわいと廻っていきました。

集まったみんなの話を総合すると、34年前夢中になっていたのは、ハンドベースボール、ゴム跳び、仮面ライダースナックのカード、あやとり、大階段（今は途中まで）からのソリすべり、文通・・・集落対抗のソフトボールもがんばりました。夏休みは町の大会に向けて暑い中、猛練習しました。大きく成長させてもらった6年間で

した。体育館にも入りました。昭和51年3月に竣工、こけらおとしが私たちの卒業式、少々古くなったものの今も健在です。そして、見学会の締めくくりは「友情の石」の前で記念撮影。ずいぶん大きくなった私たちですが、小学生に帰った気

分で写真に収まりました。この石も体育館と同級生です。

「友情」の二文字は本当にシンプルな二文字です。しかし、今も昔も大切なことは変わらない、友だちを大切に、真っ直ぐに生きていこう、と私たちに伝えてくれている気がします。これからもこの石はどっしりと地に足をつけ、温かく三宅小学校を見守り続けてくれることでしょう。



三宅小学校 同窓会費 決算報告 (見込み)

収入の部

項 目	金 額 (円)	備 考
前年度繰越	19,490	
会費	116,100	300円×387人
入会金	9,500	500円×19人
貯金利息	34	
計	145,124	

差引残高

22,311円は、次年度の会計に繰り越させていただきます。

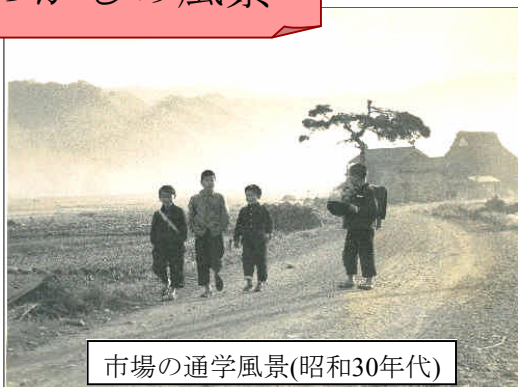
平成22年3月1日

三宅小学校同窓会事務局

支出の部

項 目	金 額 (円)	備 考
事務費	8,675	印刷費、切手・はがき代
会議費	9,538	同窓会会報誌編集委員会
同窓会会報誌	54,600	同窓会会報誌印刷費等
積立金	50,000	創立百周年記念事業へ
計	122,813	

なつかしの風景



市場の通学風景(昭和30年代)



旧上中庁舎近辺(昭和30年代)

- 同窓会では、三宅小学校創立100周年記念事業に向けて、明治からの卒業記念写真や懐かしい写真等を集めています。提供頂ける方はご連絡下さい。

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://kore.mitene.or.jp/~s-miyake/>

編集後記

今回第五号を発刊するに当たり、過去に寄稿された皆様方の内容を、あらためて読み返しますと、小学生当時楽しかった事はもちろん、厭な事、嫌いだった事等が、今では良き思い出となっている様が描かれています。

今後、この「すぎなさん」を発展発行するため、又皆様の小学生当時を思い出す機会を得るためにも、寄稿依頼されました時には、どしどし御参加下さい。

又、今年は創立百周年に当たり、記念行事等も開催される運びと思いますが、盛大に行われます様祈念致しています。

最後になりましたが、同窓会員皆様方の御健勝を御祈り申し上げます。

平成22年2月吉日

平成21年度 三宅小学校同窓会 会報誌 編集委員

小林裕明 (日笠区理事 第53回卒)
橋本初夫 (日笠区理事 第53回卒)
炭吉寿郎 (市場区理事 第62回卒)
玉井茂博 (市場区理事 第66回卒)
松宮高宏 (同窓会幹事)
高橋香苗 (同窓会幹事)

同窓会事務局住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11

電話：0770-62-0005

FAX：0770-62-0038

電子メール：miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp